

B-55 縫製しやすさと布の力学的特性との関係

大阪成蹊女短大家政 諸岡晴美 奈良女大家政 丹羽雅子 古里孝吉

目的 縫製の熟練度にかかわらず、いわゆる縫製しやすい布として仕立て映える布とそうでない布が存在し、これらの布には共通した性質がみられるであろうことが予測される。そこで本報では、縫製しやすい布がどのような特徴をもつかを主に力学的特性について解析し、縫製しやすい布のもつ力学量の範囲を捉えることを目的とした。

方法 紳士用スーツ縫製メーカー熟練者によって選ばれた縫製しやすい布とそうでない布の主に夏物を収集し、肩のいせ込みを想定していせ込み量の測定を行なう一方、KES-F計測システムを用い、引張り特性、曲げ特性、せん断特性、圧縮特性、表面特性、形態特性の6ブロック計16個の物理量を測定した。

結果 縫製の難易および仕立て映えのよさに影響を及ぼす特性として、せん断特性、曲げ特性、引張り特性が挙げられた。すなわち、紳士服の形を決定づける重要な操作のひとつであるいせ込みにはせん断特性が大きく寄与していること、人間の体を包み込む曲面形成性と形態保持性という意味から曲げ特性、また引張り特性も縫製過程でのくせり、寸法安定性、着用段階での初期形態保持性に影響を及ぼすこと、およびこれらの力学量の範囲が明らかになった。